

師走の候、皆様、いかがお過ごしでしょうか。寒さも日毎に増して参りましたが、冬支度はもう万全でしょうか？
 今回は以前にお葉書でご紹介させていただいたOMソーラーについて特集いたします。
 太陽の力で地球に優しく、暖かく、健康的に暮らせる方法をお届けいたします。

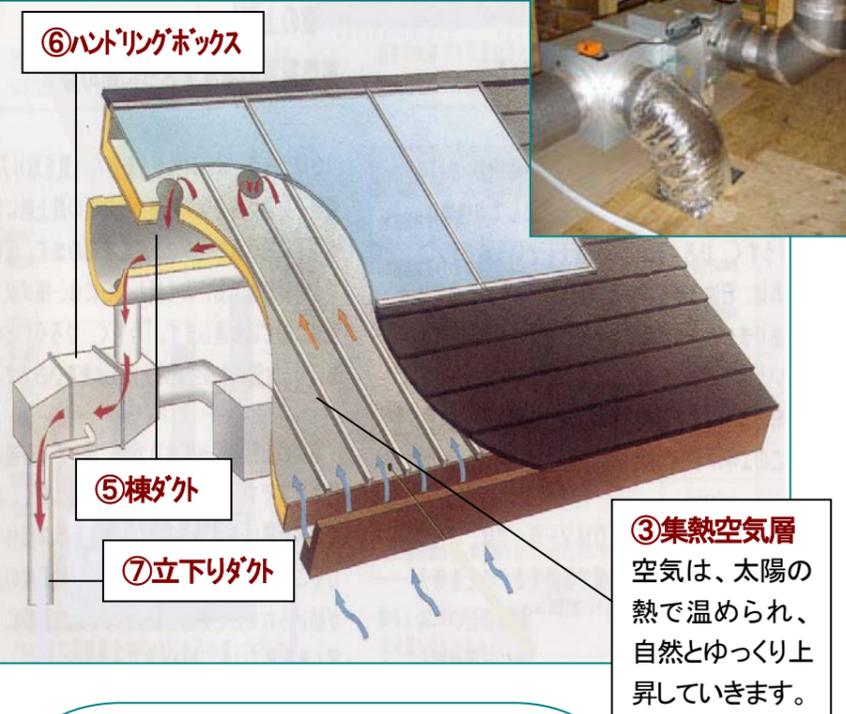
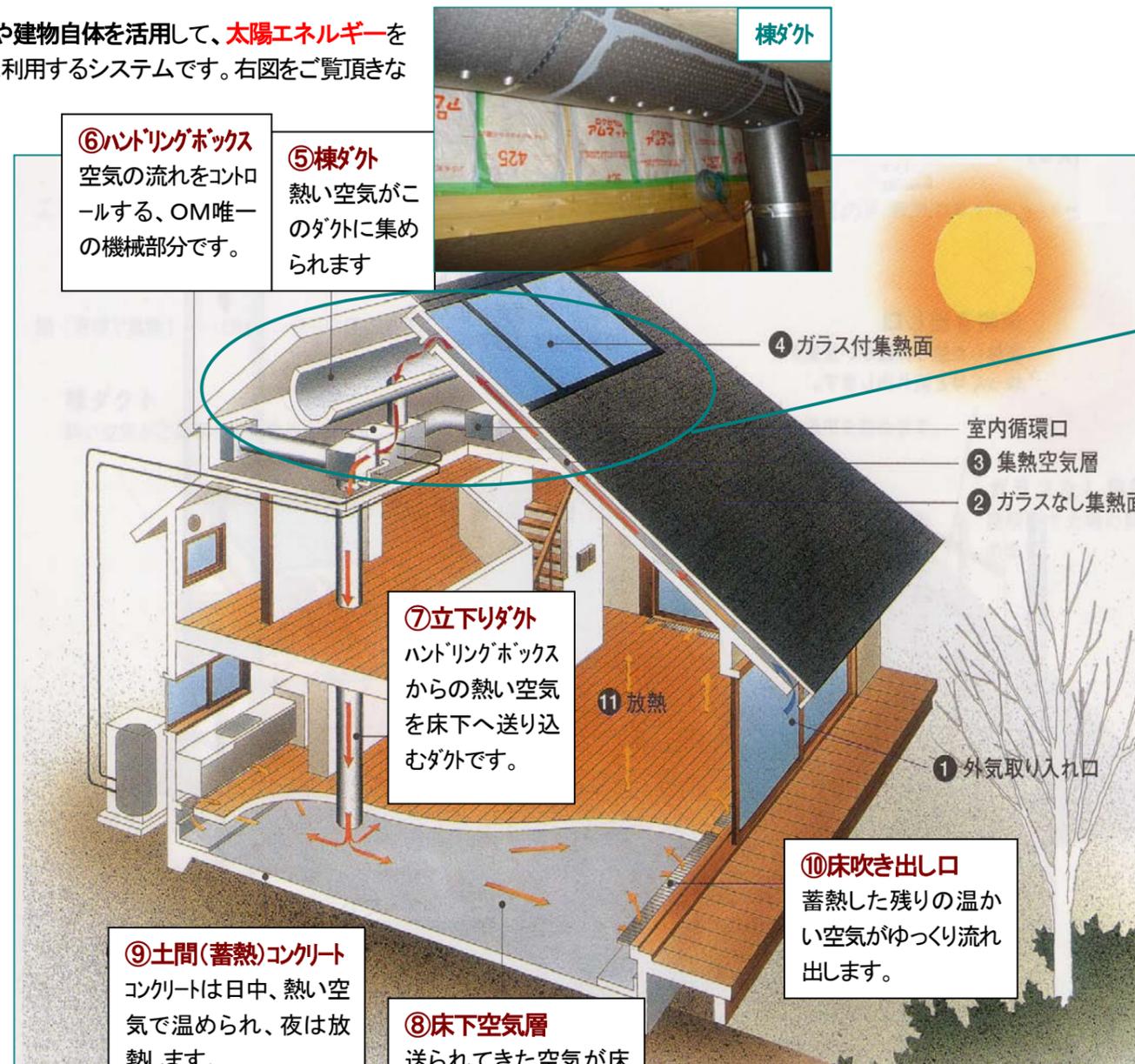
★心地いい暮らしを求めて……OMソーラーを導入してみよう★

これから迎える本格的な冬の寒さ。家の中では暖かく、心地よく過ごしたいと願われていることと思います。しかし、そんな暮らしを実現するためにエアコンや石油を多用した空調システムに頼りすぎではありませんか？

OMソーラーは大規模な機械装置を用いずに建物のしくみや建物自体を活用して、太陽エネルギーを床暖房やお湯採り、夏の夜間外気取り込み、そして換気などに利用するシステムです。右図をご覧頂きながらOMソーラーの働きを見ていきましょう。

■OMソーラーの働きの流れ(右図参照)■

- ①外気を、軒先から取り入れます。
- ②空気は、屋根に降り注ぐ太陽熱で温められるため、**集熱空気層**の中を自然に上昇していきます。
- ③空気の速度は、秒速数10cm程度。たいへんゆったりとした速度で、棟に向かっていきます。
- ④**ガラス付き集熱面**で、空気の温度はさらに高められます。
- ⑤熱い空気は、**棟ダクト**に集められます。
- ⑥集熱空気は、空気の流れをコントロールする機械箱である、**OMハンドリングボックス**へ流れ込みます。
- ⑦小さなファンの力を借りて、熱い空気が床下空間へと送られます。
- ⑧床下には、太陽の熱で温められた空気が家全体に広がるスペース、**床下空気層**が設けられています。
- ⑨熱い空気は、**土間コンクリート**に熱を奪われ(蓄熱され)ながら、ゆっくりと床下へに拡がっていきます。
- ⑩温かい空気が、**床吹き出し口**から室内へと流れ出ます。なお、吹きだしという名称はありますが、空気の流れは、速い場合でも、秒速50cmほどです。
- ⑪夕方、外気温の低下とともに、昼間、床下コンクリートに蓄えられた熱がゆっくりと放熱を始め、床を暖めます。



OMソーラーのOMとは？
O「おもしろ」 M「もったいない」
 きまぐれな自然を相手にむずかしい問題が発生したときには「おもしろ精神」でのりきり、「もったいない精神」で自然のあらゆるエネルギーを暮らしに活かし、「もったいない」を「おもしろい」に変えていこう！
 という考えからきています。

天候によっては太陽の恵みを利用できない日もあります。OMソーラーの考え方は「使えるときには使わせてもらおう、足りないときは機械に頼ろう」という柔軟なものです。自然と共に生きていることを感じながら過ごすことができるなんて素敵なことだと思いませんか？
 新築時だけでなく「お手軽OM」でリフォームにも対応できます。
 さらに詳しい資料をご希望の方は、お気軽に当社までご連絡ください。

OMソーラーを取り入れた第1棟目の工事が現在、順調にすすんでおります。内覧会(OMソーラー説明会)やOMソーラー宿泊体験会を予定しておりますので、是非体感していただきたいと思ひます。社員一同、皆様のお越しを心よりお待ち申し上げます。